

こども福祉医療センター新施設の事業者について

1 事業者公募の概要

- (1) 対象
茨城県内に所在する社会福祉法人
- (2) 公募期間（東日本大震災の影響により期間を延長）
平成23年2月24日（木）～平成23年4月15日（金）
- (3) 主な条件
 - (ア) 施設の入所定員等
肢体不自由児施設：35名以上、重症心身障害児施設：60名以上
 - (イ) 建設予定地
旧水戸産業技術専門学院跡地（水戸市元吉田町）
 - (ウ) 主な機能
 - ・機能訓練士の増員や訓練時間の延長等による機能訓練の充実
 - ・内科等の新たな診療科目の設置
 - ・在宅障害児の地域支援，発達障害児への医療的支援等に係る県事業受託による施設機能の充実
 - ・短期入所の充実 等
 - (エ) 県の支援等
 - ・新施設整備の初期投資に対する一部補助
 - ・県の事業委託（在宅障害児の地域支援，発達障害児への医療的支援等）
 - ・医師等の県職員の派遣
- (4) 結果（応募法人数）
1法人

2 事業者選定委員会

専門家による事業者選定委員会（委員長：山口巖・茨城県総合健診協会会長、委員6名で構成）を開催し、事業計画の内容の審査などを行った。

- (1) 審査方法
 - ・公募条件に基づいて、施設の運営方針、サービス向上への取り組み、職員体制、収支計画など23の評価項目を3段階で重み付けを行い、項目ごとに5段階で評定し、合計200点満点で評価。
 - ・合計120点（6割）に満たない委員がいた場合は事業者として選定しない。
- (2) 審査結果
全ての委員が120点以上となり、委員会として「事業者として適当である。」との結論を得た。

3 新施設の事業者

「社会福祉法人 愛正会」

法人の概要

- (1) 会長 金川 一郎
- (2) 所在地 高萩市大字下手綱字大谷口1951番地の15
- (3) 福祉施設の運営実績
 - ・重症心身障害児施設「水方苑」
 - ・障害者支援施設「愛正園」

- ・特別養護老人ホーム「松籟荘」「一想園」
 - ・介護老人保健施設「田尻ヶ丘ヘルシーケア」ほか
- ※医療法人として、田尻ヶ丘病院、やすらぎの丘温泉病院、安良川クリニックを運営

4 事業計画の概要

(1) 定員等

肢体不自由児施設：35名、重症心身障害児施設：100名

※短期入所、日中一時支援：各10名

(2) 延床面積、構造等

12,378㎡（鉄筋コンクリート造、地上3階、地下1階）

(3) 総事業費 約4.3億円（用地取得費2.3億円を含む）

(4) 機能の充実等

・機能訓練の充実

	理学療法		作業療法		言語聴覚療法		合計	
	現施設	新施設	現施設	新施設	現施設	新施設	現施設	新施設
総コマ数	7,934	19,520	5,333	14,640	2,581	7,320	15,848	41,480
配置人員	6	10	4	8	1(1)	5	11(1)	23

現施設 1日 8コマ(月～金 9:00～16:30)

新施設 1日 10コマ(月～土 8:30～17:30)

※1コマは1人当たり40分の訓練時間 現施設はH21実績

配置人員は理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の総数、()は嘱託職員

・診療科目の充実

小児科、神経小児科、整形外科、リハビリテーション科、内科

- ・18歳以上の障害者への診察・訓練の実施
- ・県立こども病院等関係機関との連携
- ・職員確保のための院内保育所（定員35名）の設置

(5) 県からの受託事業

- ・地域療育等支援事業（訪問リハビリテーション等）
- ・発達障害児への医療的支援
- ・小児リハ推進支援センターとしての事業
- ・新施設への移行円滑化の支援事業（機能訓練の充実強化、水戸養護学校との連携維持）

(6) 県への支援要望

- ・初期投資 10億円
- ・運営費への支援（県からの受託事業）
- ・県職員の派遣

(7) その他

- ・防災対策として、避難用スロープの設置、非常用電源の設置、法人所有給水車の活用及び耐震性受水槽、井戸の設置
- ・現センター跡地（国有地）を施設利用者のための公園、近隣住民をも含めた避難防災広場、駐車場として活用することについての提案

5 今後のスケジュール

- ・平成23～24年度 : 設計、施設建設
- ・平成25年3月 : 施設開所(予定)